

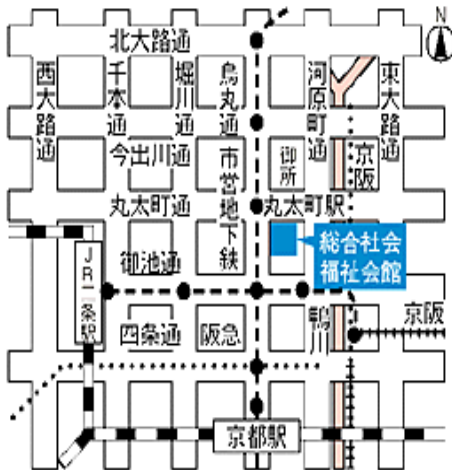
ありがとう
**小林
 正観さん
 3時間
 講演会**

テーマ
もうひとつの幸せ論

人生の目的とは？

《100%幸せな人々》が実践している62の法則とは…

すべての問題も出来事も
 幸せに感じてよき仲間にも
 喜ばれる存在になる



日時 2010年4月4日(日)

時間 午後6時15分から

～午後9時15分まで

受付開始 午後5時50分より

会場 京都総合社会福祉会館

ハートピア 大会議室

会費 5,000円

定員 180名

氏名・電話番号を明記の上、メール・FAX 又はお電話にてお申込をお願いします。

2名様以上のお申込もそれぞれのお名前もお願いします。その後、下記郵便振替口座へお振込みください。当日お振込み控えをお持ちください。

ゆうちょ銀行振り替え口座

00990-0-191161

振込先名義

松井陽子(マツイ ヨウコ)

お問い合わせ

山本 直人

携帯 080-4398-3458

矢田佳子

携帯 090-1139-5836

FAX 075-212-8537

岩木隆幸

携帯 090-3707-7759

松井陽子

TEL 075-752-0777

携帯 090-1714-1021

メールでのお問い合わせ

kozo_nao@gk2.so-net.ne.jp

小林正観さんの著書が

東京八重洲ブックセンター

人文科学の部でベストセラー

期間 2010/01/17 2010/01/23

1位になりました！

もうひとつの幸せ論」より抜粋

か が みの法則

「か」は「河」。あれをやったほうが「いい」という宇宙の声」や「宇宙の流れ」のことです。「が」は「我」。あれをやりたい」「これをやりたい」という欲求、欲望、自我のことです。「み」は「身」。宇宙の流れ」を把握し、それが自分の「魂」に合っていると判断できれば、体が素直に喜びます。

「河」である「宇宙の流れ」を感じ取って、「身」である自分が素直に喜ぶように生きていけばいい。それが「想いを持たない生き方」です。何かを引き受けたときに体が元気になったとしたら、それは、自分の「魂」に合っていると「身」が教えてくれているのです。

ところが「河」と「身」の間に「我」が入ってしまうと、「神様」が伝えようとしているメッセージが分断されてしまいます。「あれをやりたい、これをやりたい」「あれが好き、これが好き」という思いを持っていると、その思いが叶わなかったとき、「不平不満、愚痴、泣き言、悪口、文句」を口にするようになり、やがて「身」が壊れていくようです。

「我」がなければ、残ったものは「か」と「み」で「かみ」。つまり「神」。この言葉の構造はとてもおもしろいものです。

人生の後半は「何をするか」ではなく「誰とするか」を考える。「どこに行くか」ではなく「誰と行くか」

「ストレス」とは、思いどおりにならないことを、思い通りにしようとして、でも思い通りにならなかった状態のこと

人生は、努力するものでも、頑張るものでも、地位や名誉を手に入れるものでもなく、楽しむものである

感謝」はすべての存在物を味方につけるオールマイティの方法

「思い」がなければ、思い通りにならないこともない。だから「解決すべき問題」が自然に消えていく

小林正観さんプロフィール

1948年東京生まれ。中央大学法学部卒。SKPブランドオーナー。作詞家&歌手。デザイナー。学生時代から人間の潜在能力やESP現象、超常現象などに興味を抱き、独自の研究を続ける。著書多数。

会場案内

京都市中京区竹屋町通
 烏丸東入る清水町 375番地
 075-222-1777

交通機関：
 京都市営地下鉄烏丸線

(国際会館行き)

「丸太町」駅 上 5番出口直結
 (地下鉄連絡通路にて連結)

JR 京都駅から地下鉄で4つ目の駅